知民報

（1970年7月7日第3種郵便物認可）

2025年 1月26日

第2815号

発行所 高知民報社

〒780-0850 高知市丸ノ内2-6-1
TEL・088（824）3450
FAX・088（824）3451
振替口座・01640-5-12281
Mail info@kochi-minpo.com

【週刊】

定価1カ月400円（送料月180円）1部100円・毎週日曜日発行

被団協ノーベル平和賞を祝賀

原水協・原水禁・被爆者の会が共催

県原水協、原水禁県民会議、県原爆被爆者の会でつくる実行委員会が主催した「被団協のノーベル平和賞受賞を祝い、一刻も早い核兵器禁止条約の批准を求める県民のつどい」が18日、高知市の高知共済会館で開かれ、約130人が参加しました。

ノーベル平和賞授賞式のエピソードを報告する松浦さん

主催者あいさつに立った桜木敏幸・高知県原爆被爆者の会会長は、原爆被害を訴え原水爆禁止、被爆者援護法制定を求めた被団協の歩みを紹介。「今回のノーベル賞受賞は被団協の不断の努力が実ったものと確信する。被爆者の平均年齢は88歳となり、2世3世に引き継ぎ、継続させることが必要」と述べました。

記念講演では広島で体内被曝した松浦秀人・日本被団協理事（愛媛県原爆被害者の会事務局長）が自身の体験、被爆者運動の歴史、自ら参加した昨年12月10日にオスロで開かれたノーベル平和賞授賞式の様子を写真を使い報告。被爆80年、3月の核兵器禁止条約締約国会議に日本を、せめてオブザーバー参加させる取り組みへ支援を訴えました。

高知センター合唱団の合唱

リレートークでは植野克彦さん（12歳の時に広島で被爆）、下本節子・ビキニ被ばく船員訴訟原告団長、県職連合の大池智士さんが発言。浜田省司県知事、市田真里・第五福竜丸展示館学芸員のメッセージが紹介されました。集会には高知センター合唱団も参加し、「原爆許すまじ」、「青い空は」などの歌声を参加者とともに響かせました。